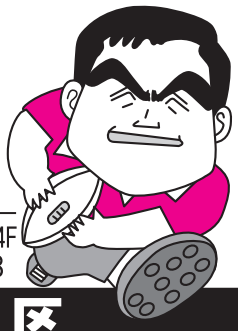
赤羽NOW

あかば・ナウ

秋号
2005.10.1 発行

衆議院議員
赤羽かずよし
の国会報告

〒652-0804 神戸市兵庫区塚本通7-1-1-4F
Tel.078-512-3177 Fax.078-512-3178



兵庫２区
（長田区・兵庫区・北区）

早速、皆様の声を国政に届けました！

衆院予算委員会・初日に代表質問

衆院予算委員会は9月30日、小泉純一郎首相と全閣僚が出席して基本的質疑を行った。公明党からは、衆議院議員・赤羽かずよしと太田昭宏幹事長代行が質問に立ち、行財政改革、少子化対策、防災対策、中小企業支援策、道路特定財源関連の自動車諸税、アスベスト対策、まちづくり三法の見直しについて質問した。

中小企業向け金融支援策の充実を

赤羽かずよし議員は、日本経済の再生の鍵として、産業全体の99.7%を占めている中小企業への支援策が重要と指摘。特に、中小企業への融資を担ってきた政府系金融機関の改革に言及し、「見直しは大事だが、中小企業向けの貸し出しを民間金融機関が担えるということが担保されない限り、中小企業には困難が予測される」との危惧を示し、中小企業に対する金融政策の充実を求めた。

中川昭一経済産業相は「より柔軟な中小企業金融政策で対応していく」と答えた。

また、赤羽かずよし議員は、地元・長田区や兵庫区にある日本の技術力を支えてきた金属加工プレスや鋳造、金型製造などの「ものづくり中小企業」の現状を紹介。今こそ、下請けからの脱皮を目指し、技術力を有効活用できる支援策の実施を提案した。

自動車重量税、揮発油税などの暫定税率引き下げを

次に、政府の道路特定財源の見直し方針に関連し、「自動車重量税、揮発油税など自動車諸税の税率は本来の2～3倍の暫定税率になっており、まずは本則の税率に戻し、その差益は利用者に還元するのが筋だ」と主張。

（9月30日予算委員会で質問）

また、原油高による深刻な影響を受けている運輸業界の現状を指摘し、「軽油引取税（地方税）も見直しの対象とするべきだ」と強く要望した。

迅速なアスベスト対策を

さらに、政府・与党が来年の通常国会で成立をめざすアスベスト被害者救済新法について、「（健康被害が）進行している被害者に対しては、新法施行以前にさかのぼって、（救済対象に）認定するなど隙間のない対象を」と強調。小池百合子環境相は「スピード感をもって継ぎ目なく、対応していく」と述べた

９・１１　衆議院選挙 5期目当選！

衆議院議員・赤羽（あかば）かずよし

昭和33年5月7日生まれ（47歳）
慶應義塾大学法学部政治学科卒業
昭和58年三井物産株式会社に入社
在社中、台湾国立師範大学で中国語研修後、北京・南京事務所勤務。駐在時、天安門事件に遭遇。関西支社勤務を経て、平成5年退社。
平成5年衆議院総選挙初当選、平成8年再選、
平成12年三選、平成15年 四選 平成17年5期目当選
党役員（中央幹事、副幹事長、国土交通部会部会長、国際委員会副委員長、経済産業部会副部会長、団体渉外委員会団体局長、同副委員長）
所属委員会（衆議院国土交通委員会理事・同外務委員・同災害対策特別委員）
座右の銘「一人立てるときに強き者は真正の勇者なり」
趣味（ラグビー［元全日本高校選抜］・絵画鑑賞）

『国会中継は赤羽かずよしのホームページでご覧下さい』